

高等部「産業現場等における実習（前期）」

6月10日（月）から21日（金）までの10日間、高等部1年生は校内実習に、2・3年生は個別実習に取り組みました。今回は、そのようすをお知らせします。



校内実習

1年生

1年生は、職業訓練室を模擬会社と見立てて、生徒は新入社員、教師が上司となつて、1日4時間(80分×3回)の立位作業を行いました。4時間立ちっぱなしで働く10日間。はじめての現場実習をとおして、働くことの大変さを“実感”できました。

今回も東和電機工業様から受託したボルトナットの仮組が約 10,000本。会社から依頼された仕事を、責任を持って最後までやり遂げる達成感も味わうことができました。仮組作業の他に、4,000本以上のボールペンの組立作業にも挑戦し、こちらもやり遂げることができました。2年生1名は、個別実習期間がずれたため、牛乳パックによる紙すき作業に取り組みました。

校内実習は「模擬会社」であるため、社員として挨拶や報告はしっかり行うのは当然のことです。作業のミスは許されませんし、正確さや迅速さも求められました。長時間の作業に備えて、日々の健康管理もしっかり行う必要がありました。各自がそれぞれ取り組むことで、自分の作業スピードや作業量が明確に分かりますので、自分の集中度合いや日々の成果が一目瞭然です。(20本組み立てたらシール1枚等)



ボルトナット仮組

ボールペン組立

リサイクル

実習後、実習の反省が生徒一人一人から聞かれました。特にコミュニケーションや態度面の改善が必要だというのは全員共通の課題でした。まずは挨拶から少しずつ努力し、次回の実習に臨んでほしいと思います。

将来の夢実現のためには、自分の良さを伸ばすのはもちろんのこと、自分の課題からも目をそらさず、日々の努力を積み重ねていけるかどうか…。期待して見守りたいと思います。

初めての实習経験(達成も失敗も)を糧に、その後、努力を続けられた先輩達は希望の進路を実現しています。校内実習は、働く生活への入口。自分を見つめる良い機会となりました。

裏に続く

2年生は経験を積む → 3年生は進路を決める

2年生

2年生からは、個別実習となります。先生の付添も放課後等デイサービスの利用もなくなる、卒業後やその先の生活を考えながら実習に取り組みます。

「実習先＝卒業後の進路先」と想定して、卒後の生活と同じようにやってみるのが個別実習です。作業への適性はもちろんのこと、自力で通勤するのか送迎が必要なのか、送迎は自宅までなのか集合場所までは自分で行くのか、給食はあるのか弁当持参なのか等々、様々な要素を複合的に考えなければなりません。卒業時点の進路だけでなく、その後のステップアップ(目標)を考えて段階的に進路を考えることも大切です。

3年生

3年生は、進路に直結する実習となります。すでに卒業後の進路をある程度決めている生徒は、同じ施設で実習することもあります。昨年と違う事業所で実習する生徒にとっては(保護者にとっても)、この事業所に進むのか、さらに違うところでも実習してみるのか…考えながらの実習となります。



実習後、会社はもちろん、施設でも卒後の利用を断られることもあります。この場合、どうしてダメだったのか、課題に真摯に向き合い、本人＋家族＋学校で、進路をもう一度考えていくことになります。

今回の個別実習にご協力いただいた事業所

実習先（福祉サービスの種類等）	所在地	参加数	主な実習内容
きりんの里（就労継続支援B型）	平川市	2	室内軽作業、環境整備 他
カリフラワー（就労継続支援B型）	平川市	1	電子部品の組立、清掃 他
すまいるホーム（就労継続支援B型）	平川市	1	弁当の盛り付け、室内軽作業
ワークショップ大鰐（就労継続支援B型）	大鰐町	1	リサイクル、農作業、室内軽作業 他
ハナタバ（就労継続支援A型）	弘前市	1	アパートの清掃
ひかり（就労継続支援B型）	弘前市	1	タオル畳み、バスタオル重ね 他
あづまーる（就労継続支援B型）	青森市	1	PC解体、室内軽作業 他
あいおらいと（就労継続支援B型）	藤崎町	1	農作業 他
ワークキャンパス大鰐（生活介護）	大鰐町	1	自立活動 他
オリンパスサポートメイト青森事業グループ（特例子会社）	黒石市	1	社内清掃

実習でのようす

